

建築工事特記仕様書

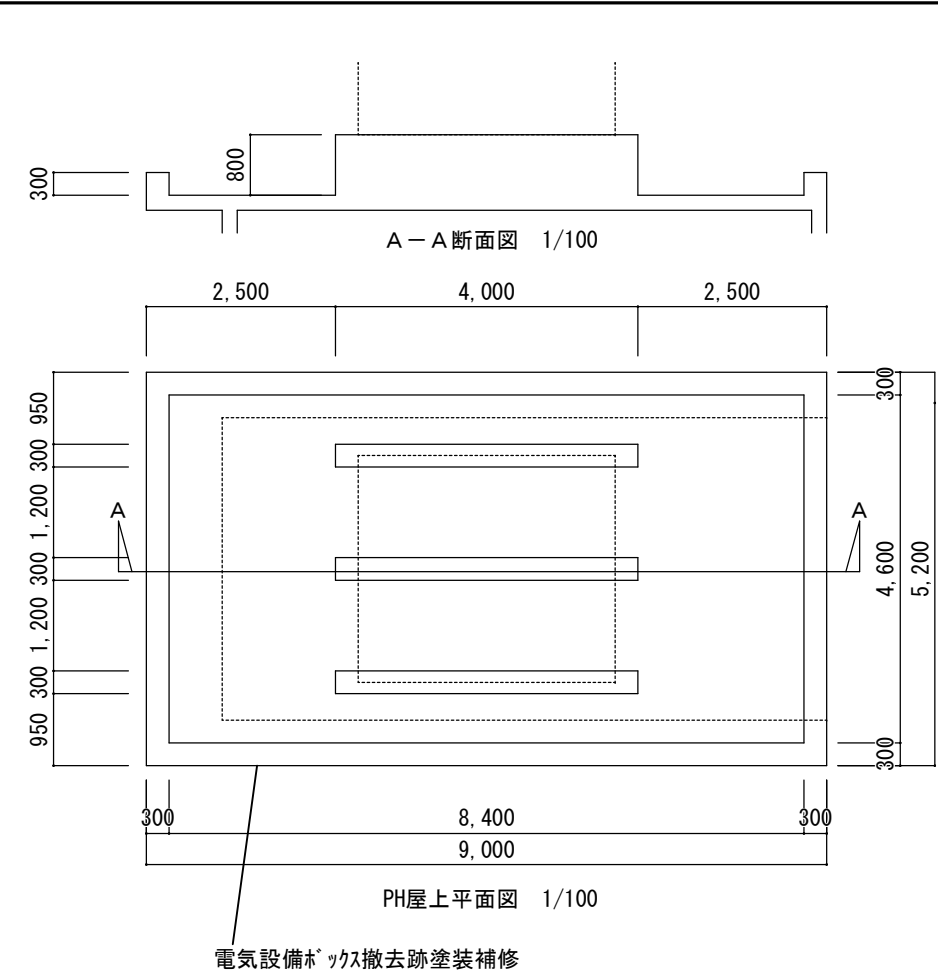
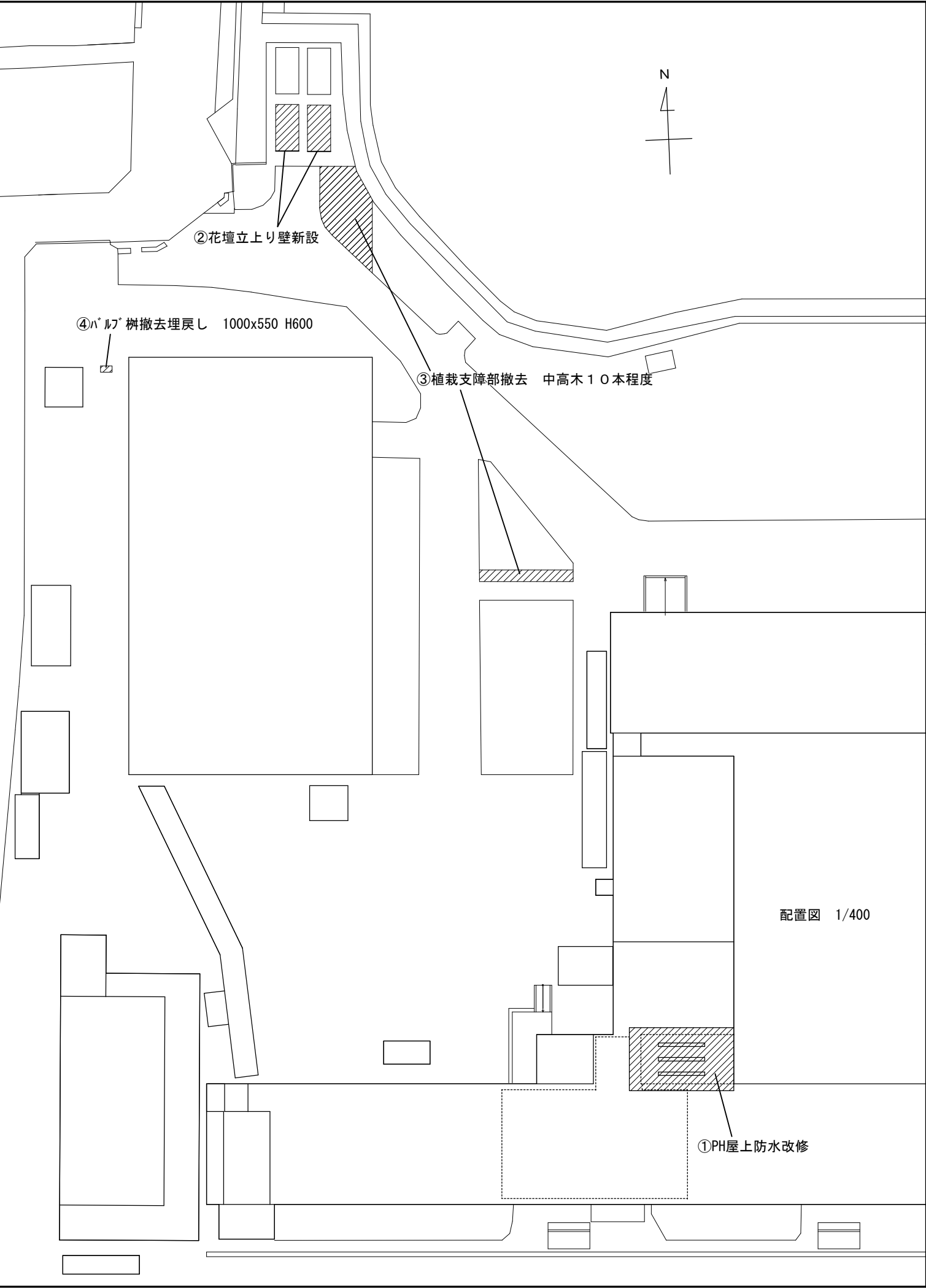
この工事は高槻市週休2日工事実施要領に基づき施工するものとする

A. 工事名称	高槻市立上牧小学校給水設備改修工事
B. 建築工事仕様	1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「標準仕様書」という。）による。 2) 電気設備改修工事・機械設備改修工事は、それぞれの工事仕様書を適用する。
C. 一般共通事項	
1. 設計図書優先順位	①現場補足説明書 ②特記仕様書 ③設計図 ④「標準仕様書」
2. 施工計画書の提出	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。
3. 建築材料等	建築材料の製造所、製品及び施工業者は、特記されたもの又は同等以上とする。ただし、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受けること。
4. 火災保険等の加入	工事施工に伴い下記の保険等に参加すること。 ①火災保険 ②建設工事保険 ③労災保険 ④賠償責任保険 ⑤建設業退職金共済制度掛金
5. 施工条件	施工日・施工時間・工事車両出入口・駐車場・資材置場等は、施設との協議による。
6. 施工中の安全確保	施設使用中の工事なので工事車両の出入り、資材保管、仮設物等安全面については十分注意し、事故のないように努めること。
7. 施工図	設計書は、そのまま施工するのに不十分であるので工事実施に際しては施工図（必要に応じて詳細図）を作成する。施工図等の著作権にかかわる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
8. 適用基準	官公署その他への届け手続き等、関係官公署その他の関係機関への必要な届出及び申請書類を作成すること。
9. 完成図等	黒表紙（ハードカバー）A 4 版（金文字） 1 部 電子媒体（JWW-CAD又はD X F形式）C D－R 1 部 ※最新版ウィルスチェックソフトにより安全を確認し提出すること。 ファイル名：図面番号_図面名称_工事名称_年度（西暦）. pdf 英数字とアンダーバーは半角とする。 ハードケースに入れて提出すること。
D. 仮設工事	
1. 工事用水	構内既存の施設 ・利用できない ・利用できる（ <input checked="" type="radio"/> ・有償 ・無償） <input checked="" type="radio"/> ・利用前に分岐小メーターを設置し、利用分を区分可能とすること 着工前・完成後に写真を撮り提出すること。
2. 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できない ・利用できる（ <input type="radio"/> ・有償 ・無償）
3. 交通誘導員	図面による。

E. 環境配慮	
1. 建設機械の使用	工事に使用する建設機械は、環境負荷の少ない低騒音、低振動、排ガス対策型の建設機械を使用すること。（施工計画書に明記及び工程写真に添付）
2. リサイクル材の使用	外構工事等で使用する砕石・アスファルトは、再生材とすること。
3. コンクリート型枠	1) 合板せき板使用の場合は、原則として複合合板を使用すること。 2) 合理的使用により反復使用回数の増加に努めること。
4. 分別解体	建築物等の全部又は一部を解体するときは、廃棄物の種類ごとに分別しつつ施工すること。
5. 廃棄物の再資源化	1) 現場発生材の再利用、再資源化に努めること。 2) コンクリート塊・アスファルト塊・発生木材については、再資源化施設に搬入すること。
6. 廃棄物の適正処理	1) 受注者は建設廃棄物を自らの責任において適正に処理すること。 2) 運搬は産業廃棄物収集運搬業者等と、処分は産業廃棄物処分業者等それぞれ個別に直接契約すること。 3) 建設廃棄物の搬出に当たっては、産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付し、適正に管理すること。 4) 本工事の発生土は、大阪府都市整備部が、令和5年度上半期建設発生土受け入れ価格及び再生土販売価格調査仕様書に合致した受入等事業者として公表している再資源化施設に運搬するものとする。 これにより難い場合が生じたときは、監督職員と協議し、近隣の公的受入地への搬入を検討すること。また、公共工事間流用可能となった場合や公的受入地へ変更となった場合、処分費等に関して設計変更の対象とする。
7. 材料の選定	1) 仕上材はホルムアルデヒドの放散量の等級がJ I Sで定めるF☆☆☆☆とする。 2) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤はホルマリン不検出のもので、水性形のものとし、接着剤に含まれる可塑剤は難揮発性とする。
8. 化学物質の検査	内部改修を行った際には、指示した室のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 （検査項目） ①ホルムアルデヒド（0.08ppm） ②トルエン（0.07ppm） ③キシレン（0.05ppm） ④エチルベンゼン（0.88ppm） ⑤スチレン（0.05ppm） ⑥n-ラジクロロベンゼン（0.04ppm）
9. 撤去工事におけるアスベスト処理	当該施設においては「非飛散性アスベスト内装材」が含まれている可能性があり、撤去・処分に当たっては監督職員と協議の上、「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理すること。 ※令和4年4月1日以降に施行された改正大気汚染防止法に基づく対応を行うこと。 （校舎外壁下地調整材・空調PS外壁材・煙道（機械設備対応）・機械室棟外壁下地調整材）
10. ノンアスベスト材料の仕用	工事で使用する建築資材についてはアスベスト含有材料を使用せず、ノンアスベスト材料を使用すること。

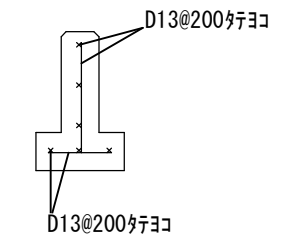
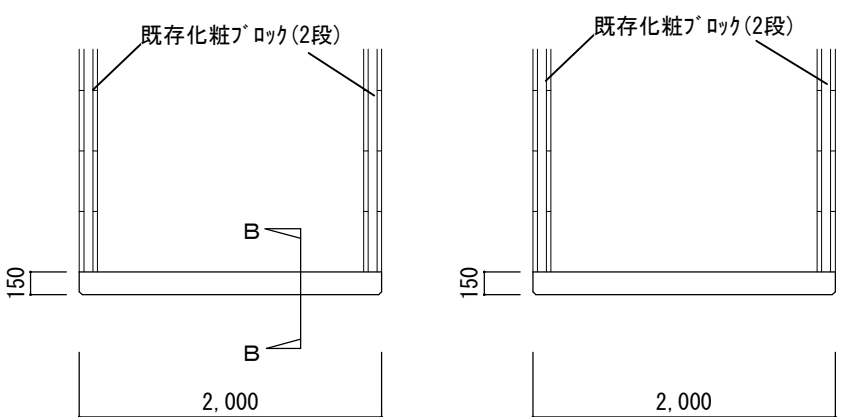
F. その他の留意事項
1. コンクリート・モルタル・塗料が付着した施工用具については、周辺環境に影響を与えないように適切に処理を行うこと。
2. 塗料の施工を行う場合は、現状の天気及び天気予報を確認した上で、降水の可能性がある場合は施工をとりやめること。 また、夜間に気候急変の可能性があるので、日中に乾ききる時間までに塗装作業を完了し乾燥を確認すること。
3. 防水工事を行う場合は、ドレンを完全に塞ぎ外部に流出しない対策を行った後に施工すること。
4. 雨水側溝や下水管に建築資材が流れ込みそうな場所では、流出防止のため土嚢によるせき止めやノッチタンクへのポンプアップ等の措置を講じた上で施工すること。
5. 建築資材を取り扱う際には、十分注意するとともに、施工中・施工後といった状況に応じ、正しい認識のもとに取り扱うよう関係作業者に指導を行うこと。
6. 現場代理人は、作業中・作業後の安全・環境に対する点検を必ず行うこと。
7. 予期せぬ事故等により、流出した場合は、拡散を防止する処置等を行うとともに、速やかに監督職員及び、関係部局（下水河川事業課、環境政策課など）へ報告を行うこと。
8. 工事範囲においては、施工後に釘やビス、番線などが残っていないように現場状況を必ず確認すること。

	Name	高槻市立上牧小学校給水設備改修工事		
	Class	建築工事特記仕様書		
	Sheet No.	Scale	Checked by	Date
	A-1 2	NS	b. s. l. s.	
TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE				

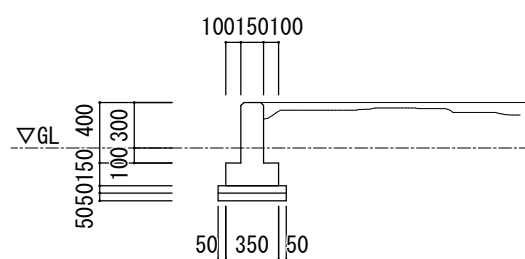


【防水改修仕様】
PH屋上：配管支持材撤去、ケレン下地清掃、
下地調整材塗布、
改修用ドレン 行型φ70 2ヶ所、
塗膜防水×2仕様
設備基礎：ケレン下地清掃、下地調整材塗布、
塗膜防水×2仕様

①PH屋上防水改修



配筋要領図 1/30



【構造特記仕様】
コンクリート：Fc24-15-20 +6N 高性能AE減水剤
鉄筋：D13 SD295A 定着長L=520
捨コンクリート：Fc18-15-20 t=50
碎石：再生クラッシュラン t=50

②花壇立上り壁新設